

硫黄鳥島

概況(平成18年9月)

29日に行った観測では、従来から見られていた弱い噴気が認められた程度で、火山活動に特段の変化はありませんでした。

29日に気象庁長崎海洋気象台が行った海上からの観測で、島の北側に位置する硫黄岳火口と島の中央部に位置するグスク火山火口でごく弱い少量の白色噴気が確認されました(図1~3)。各火口の噴気の様子は、前回の観測時(2006年7月22日)と比べて特段の変化はありませんでした。



図1 硫黄鳥島 南西側から見た硫黄岳火口
(9月29日撮影)



図2 硫黄鳥島 東側から見たグスク火山火口
(9月29日撮影)



図3 硫黄鳥島 火口の位置図